

大規模な水漏れ事故が発生

市営住宅 しんよう1号棟



凍結してツルツルになった階段と使用できなくなったエレベーター

2月17日、午後5時半ごろ、「しんよう1号棟」(鳥取南4丁目)で4階から1階まで、廊下が水浸しになりました。水道メーターが凍結・破損して、水が流出したのが原因ですが、厳冬期のため水が氷に。大変なことになりました。業者が水漏れしている水道管を止め、住民が総出で、水を掻き出しましたが、エレベーターは使用不能に、共用廊下と階段は氷でツルツルになりました。



凍結防止の「水落とし」をしても凍ったのはなぜ?

パイプシャフト内の水道メーターの凍結が水漏れの原因と考えられます。

日本共産党 釧路市議



村上かずしげ

通信19年2月24日

発行 日本共産党釧路市議団
釧路市役所内 Tel.23-5212

③業者と公社に任せきりの市の対応は。当日は住宅課の職員は現地に行かず、現地にいたのは業者と住宅公社の職員だけ。業者は夜遅くまで作業し、翌日も朝早くからジェットヒーターで水を溶かしていました。市役所の危機管理の対応としては大問題ではないでしょうか。

②天井からも水が滴り落ちたのはなぜ。村上議員は天井からも水が落ちていたことも確認しました。市は、パイプシャフトからだけの流出と考えているようですが、廊下の天井裏などは調べなくても大丈夫なのでしょう。

①古い住宅の時は水道管の凍結などなかったのに、なぜ水落ししても凍るのか。「鳥取団地は古かったのに水落しなどしたこともない」が多くの人々の共通の声。凍結防止の水落しもしっかり行われていたことは業者も確認しています。「この住宅なら灯油代が安く済みますと言われましたが、全然違います」との声も。非常に厳しい冷え込みがあったとはいえ、水落しをしても凍るといふなら、住民はどうすることもできません。

村上かずしげ議員は、その日の夜に駆けつけ、被害を受けた方に声をかけ、様子を聞きました。また、翌日には、全戸を訪ねて改めてお話を聞きました。そのなかで大きな疑問がわきました。

新築の住宅なのに
なぜ起きたのか?

凍結破損箇所

